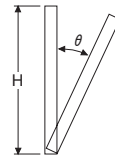
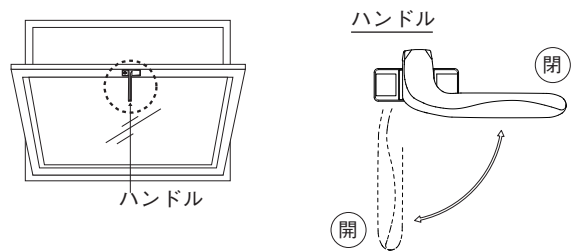


内倒し窓の取扱い (ハンドル式・トップラッチ式)

障子の開閉

■ハンドル式

- ①ハンドルを下に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで引いてください。
設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ③障子を閉める時は、ハンドルを下向きのまま押してください。
- ④障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



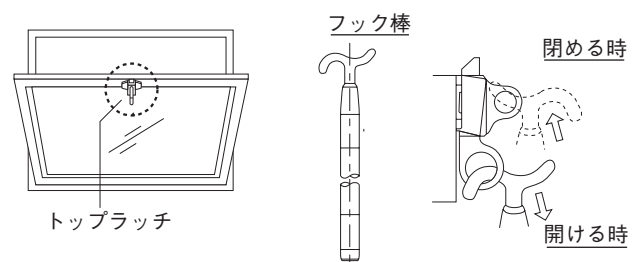
■開き角度区分

サッシの高さ(H)	角度θ
300mm～749mm	30°
750mm～1100mm	20°

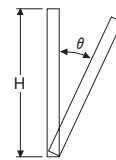
障子の開き角度はサッシの高さにより異なります。上記の開き角度は目安です。

■トップラッチ式

- ①上框の締めり金具（トップラッチ）の丸環部分に手またはフック棒を掛けて、静かに引いてください。ロックが解除されます。
- ②①の状態から、障子が止まるまで引いてください。設定された角度で自動的にストップします。
- ③障子を閉める時は、トップラッチの丸環部分に手またはフック棒を掛けて静かに障子を押し上げて閉め、トップラッチがロックされたことを確認してください。



トップラッチ形状



■開き角度区分

サッシの高さ(H)	角度θ
300mm～749mm	30°
750mm～1100mm	20°

障子の開き角度はサッシの高さにより異なります。上記の開き角度は目安です。

お願い

- ❶窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

▲注意

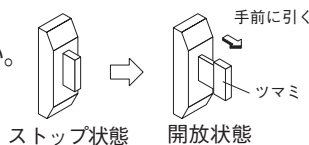
1. 風の強い時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。
ロックをしないと、障子が風であおられ急激に開閉して衝撃を受け、破損・落下等の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

内倒しストッパーの操作方法

本品は、網戸のメンテナンスなどの時に内倒し角度を大きくするための金具です。メンテナンス時以外は操作しないでください。
(サッシサイズ 高さ600mm以下の時取付け)

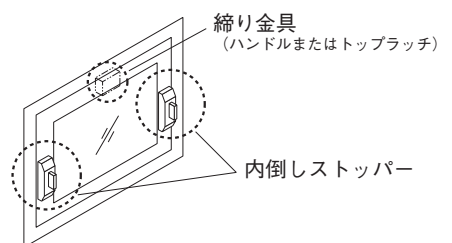
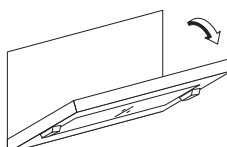
1. 開放操作手順

- ①完全に閉鎖されていることを確認してください。
- ②左右たてかまちに取り付いている内倒しストッパーのつまみを手前に引きます。



- ③障子を支えながら締めり金具（ハンドルまたはトップラッチ）を解錠します。
- ④障子が止まるまで室内側へ倒すと約60°の角度でストップします。

室内側へ倒す（約60°）



お願い

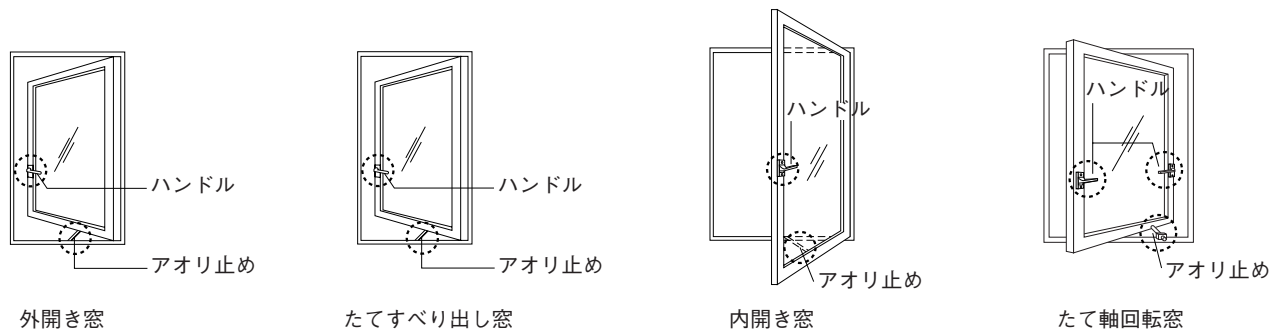
- ❶ 開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- ❷ 窓の開放時ロックがされないため清掃やメンテナンス作業時に手や指を挟まないよう注意してください。

※閉鎖する時は上記と逆の手順でおこなってください。
※閉鎖時は確実に内倒しストッパーのつまみを押し戻してください。

■ スウィング窓オプションハンドルの取扱い

対象バリエーション

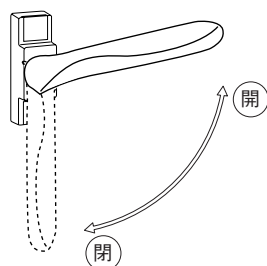
オプションハンドル対象の開口形式は以下のとおりです。障子の開閉操作については各窓の取扱説明をご覧ください。



ハンドル種類

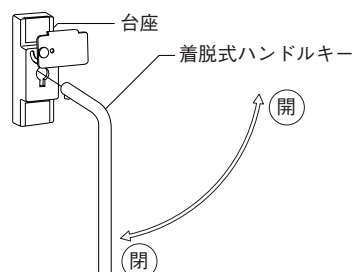
上記の機種は、ハンドルのタイプが下記の3種類のいずれかになります。

1. 標準ハンドル



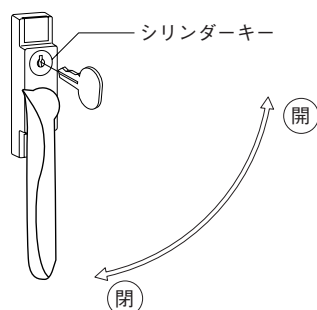
ハンドルを上^{90°}回してください。
ロックが解除されます。

2. 着脱式ハンドルキー



ハンドルキーが着脱式になっています。
台座のキー孔カバーを動かしてハンドルキーを
差し込み、上^{90°}回してください。
ロックが解除されます。

3. シリンダーキー付ハンドル



標準ハンドルと類似していますが、台座上部に
シリンダーキーが付いています。
キーを操作することにより、ハンドルが上^{90°}
回せるようになります。